

MDNアプリケーション対応 －MS-IEの場合－

2001年12月4日
InternetWeek2001/日本語ドメイン名解説
(株)日本レジストリサービス(JPRS)
森健太郎 <kentaro@jprs.jp>

動機

- インターネットユーザにおいては、Webブラウザにおける早期のMDN対応が望まれる
- なかでもシェアの大きなMS-IE(Microsoft Internet Explorer)における対応は重要な課題
- MDNの実装を以って、標準化を促進することをも視野におき、JPRSにてMS-IEにおける対応を行うこととした

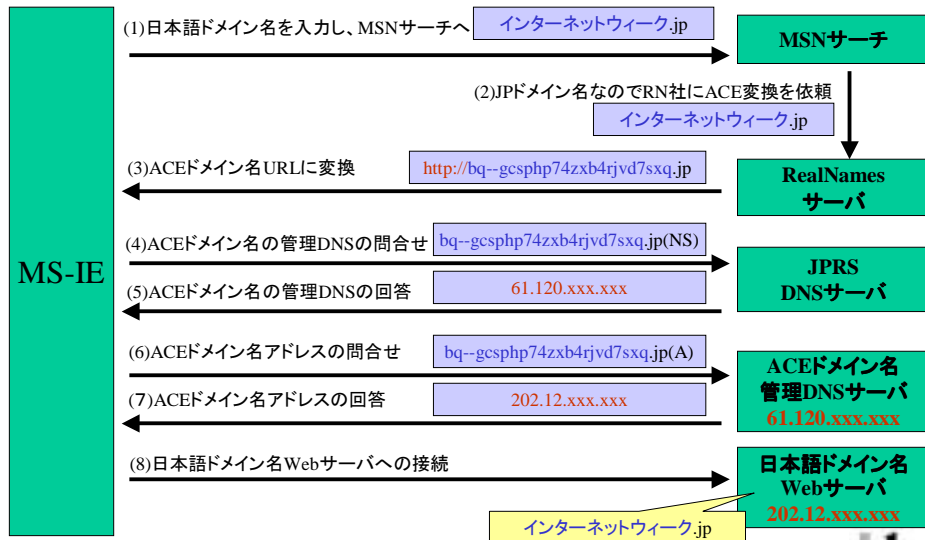
対応方針

- MS-IEそのものにおいて早期にMDN対応することは困難
- プラグイン形式の実装も考えられるが、**ユーザサイドでの対応**が必要となってしまう
- これらを勘案し、MS-IEの「**MSNサーチ**」機能にフックさせて対応することとした
- このため、米国**RealNames**社と提携し、MS-IEでのMDNソリューションを図った

サービス概要

- MS-IEアドレスバーに**日本語ドメイン名**を入力することで、ホームページへのアクセスが可能となる
 - 「インターネットウィーク.jp」など
 - 「http://」の入力は不要(不可)
- Windows版の**MS-IE5.0**以降を対象
- 日本語ドメイン名として**利用可能な全ての文字**をサポート
 - 文字セットはJPNIC規定に準拠
- エンコード方式には**RACE**を採用する
- 2001年8月27日よりサービス中

動作の仕組み



動作の仕組み(2)

- MSNサーチからRN社への情報転送は、**URLリダイレクト**により実装されており、実際にはMS-IEを介して行われる〔図中(2)〕
- この際、**NAMEPREP**(ドメイン名文字列の正規化方式、IETFにて規定)も行われる
- 日本語ドメイン名を取得後、JPRSにおいて**ネームサーバ設定**を行う必要がある〔図中(4)(5)〕
- **ACEFドメイン名管理DNS**、**日本語ドメイン名Webサーバ**は、各ユーザによりACE(RACE)で運用される必要がある〔図中(6)(7)(8)〕

今後の課題

- 非Windowsユーザのサポート
 - MS-IE以外のブラウザにおけるMDN対応
- ACEエンコード方式のIETF標準への対応
 - MS-IEにおける現行のRACEからの移行
- ACEドメイン名管理DNSのMDN対応
 - 日本語ドメイン名のみでDNS運用を可能とする